

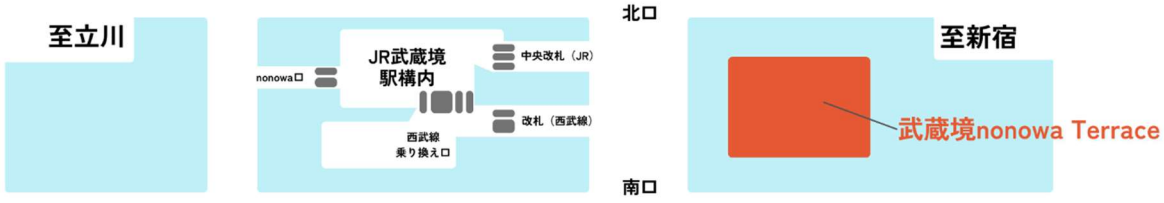

【大好評につき第2弾開催！】
全国各地の日本酒 50 銘柄が集結！
日本酒一合缶®角打ち「旅する日本酒店」がGW 期間限定オープン！
～Agnavi × JR 東日本グループで地域共創を目指します～

- 日本酒ブランド「ICHI-GO-CAN®」を展開する株式会社 Agnavi（代表取締役：玄成秀、本社：神奈川県茅ヶ崎市）は、JR 東日本グループで、スタートアップ企業への出資や協業を推進する JR 東日本スタートアップ株式会社（代表取締役社長：柴田裕）、株式会社 JR 中央線コミュニティデザイン（代表取締役社長：小澤裕）と共創し、全国各地の日本酒が楽しめる一合缶®の体験店舗を2024年4月26日（金）から2024年5月6日（月）のゴールデンウィーク期間限定で JR 武蔵境駅と JR 国立駅にてオープンします。
- 昨年12月から今年1月にかけて累計約1万人を集客した「旅する日本酒店」を、第2弾となる今回は JR 武蔵境駅に加えて、新たに JR 国立駅でも行います。
- 「旅する日本酒店」は地域の日本酒を取り扱う日本酒一合缶角打ちです。開催期間中、全国各地 50 銘柄の日本酒を11日間にわたって販売し、JR 東日本と各地の酒蔵がコラボした商品もご用意しています。



1 「旅する日本酒店」の概要

期間	4月26日（金）～5月1日（水）：JR 武蔵境駅 nonowa Terrace 5月2日（木）～5月6日（月）：JR 国立駅 北口広場
----	--

<p>場所</p>	<p>JR 武蔵境駅 nonowa Terrace</p>  <p>JR 国立駅 北口広場</p> 	
<p>時間</p>	<p>平日：16時～20時 土日祝：11時～19時</p>	
<p>販売銘柄</p>	<p>東京都 神奈川県 埼玉県 千葉県 茨城県 栃木県 群馬県 青森県 岩手県 山形県 福島県 新潟県 富山県 福井県 静岡県 愛知県 京都府 徳島県 佐賀県 熊本県</p>	<p>澤乃井（青梅市） 雨降（伊勢原市）、盛升（厚木市）、いづみ橋（海老名市）、湘南（茅ヶ崎市） ケトハレ（比企郡小川町）、帝松（比企郡小川町）、 菊泉（深谷市）、清龍（蓮田市）、枅川（行田市）、天覧山（飯能市）、 長瀨（秩父郡長瀨町）、東白菊（深谷市）、金紋世界鷹（さいたま市西区）、 晴雲（羽生市）、琵琶のささ浪（入間郡毛呂山町）、直実（熊谷市）、 万両（さいたま市岩槻区）、秩父錦（秩父市） 甲子（印旛郡酒々井町） 来福（筑西市） 東力士（那須烏山市） 水芭蕉（利根郡） 菊乃井（黒石市） あさ開（盛岡市） つや姫なんどでも（南陽市） 磐城壽（双葉郡浪江町）、奥の松（二本松市） 今代司（新潟市） 満寿泉（富山市）、満寿泉 Bo（富山市）、苗加屋（砺波市）、 若駒（南砺市）、富美菊（富山市）、幻の瀧（黒部市）、帆波（魚津市）、成政 （南砺市）、風の盆（富山市）、玉旭（富山市）、 一乃谷（大野市）、北の庄（福井市）、福千歳（福井市） 花の舞（浜松市浜北区） 夢吟香 DREAM（西尾市） 丹後の光（京丹後市）、CHIMERA（京丹後市） 三芳菊（三好市）、 天吹（三養基郡みやき町）、光武（鹿島市）、北斗百裂拳（鹿島市）、 北斗剛掌波（鹿島市） 花純（葦北郡津奈木町）</p>

【JR 東日本コラボ取り扱い商品】

JR 東日本コラボ一合缶	
商品	ぽぽべえ 磐城壽 一合缶（福島県双葉郡浪江町）、 ぽぽべえ 奥の松 一合缶（福島県二本松市）、 E233系 一合缶（神奈川県茅ヶ崎市）、サフィール踊り子 一合缶（静岡県浜松市）、 185系 一合缶（静岡県浜松市）、山形新幹線（E8系、E3系）（山形県南陽市）

【旅する日本酒店スタンプカードキャンペーンの実施】

期間中、一合缶を1本お買い上げ毎に、スタンプカードにスタンプを1個押印。7個貯まれば、JR 青梅線沢井駅にある小澤酒造の「JR 中央線限定ラベル 澤乃井 一合缶」がもれなくもらえます。

※限定 300 本

※参加条件は、Suica 等交通系 IC カードでお買い上げいただいた方のみとさせていただきます。

※前回のスタンプカードも引き続きご利用いただけます。



2 背景

昨今若者のお酒離れにより、日本酒の消費量は年々減少傾向にあり、地域の酒蔵にとって厳しい状況です。これは、地域の観光資源の減少にもつながるため、観光産業にとっても大きな課題でもあります。

こうした地域課題に対して、株式会社 Agnavi の持つ缶の充填から販売までの一気通貫したサービスは、小ロットで缶に清酒を詰めることができます。これにより大小問わず地域の酒蔵と連携することが可能で、市場に出回ることが少ない銘柄も広く流通させることができ、様々な地域の酒蔵に出会う機会を創出することができます。今回は鉄道用地を活用しながら、日本酒一合缶を通じて地域の日本酒を体験できる場をつくることで、全国各地の酒蔵の魅力を発信し、ファンになってもらい、観光流動を創出するため、実施に至りました。

【ICHI-GO-CAN®について】

株式会社 Agnavi（本社：神奈川県茅ヶ崎市）が展開する“適量・オシャレ・持ち運びベンリ・環境にも優しい”を実現させた1合180mLの日本酒ブランドです。全国160種類以上の地酒を取りまとめて販売しており、蔵の大小に依存しない地方の魅力を発信することで、日本酒の消費拡大を目指しています。地方の歴史ある酒蔵が存続安定できるようにするためのゲームチェンジャーとなり、ライフスタイルを革新する様々な日本酒をワンストップで入手できる充填から販売までの商流構築を通じた新たな市場の創出のための挑戦を続けています。事業開始3年で全国100蔵元との協業にその輪は広がり、展開する銘柄は160種類以上に達しました。北米・南米・東南アジア・ヨーロッパなど海外への輸出を行っています。



【各社概要】

Agnavi

会社名： 株式会社 Agnavi
所在地： 神奈川県茅ヶ崎市本村2丁目2番地18号
代表者： 代表取締役 玄 成秀
設 立： 2020年2月27日
事業内容： 日本酒ブランド「ICHI-GO-CAN®」の展開
U R L： <https://agnavi.co.jp/>

JR 東日本スタートアップ

会社名： JR 東日本スタートアップ株式会社
所在地： 東京都港区高輪 2-21-42
代表者： 代表取締役社長 柴田 裕
設 立： 2018年2月20日
事業内容： 事業シーズや先端技術の調査・発掘、ベンチャー企業への出資及びJR東日本グループとの協業推進
U R L： <https://jrestartup.co.jp/>

JR 中央線コミュニティデザイン

会社名： 株式会社 JR 中央線コミュニティデザイン
所在地： 東京都小金井市本町 1-18-10 小金井本町ビル 5F
代表者： 代表取締役社長 小澤 裕
設 立： 2021年4月1日
事業内容： ショッピングセンター／駅運営／教育／地域活性化・開発／新規
U R L： <https://www.jrccd.co.jp/company/>

※画像等はすべてイメージです。

※商品の取り扱い内容は予告なく変更になる場合があります。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 Agnavi 担当 日置 Email info@agnavi.jp

JR 東日本スタートアップ株式会社 担当 佐々木・山田 Email info@jrestartup.co.jp TEL 03-6778-4366

株式会社 JR 中央線コミュニティデザイン 担当 広報 Email press@jrccd.co.jp TEL 042-316-4401